

部局名	生涯学習部	所属名	生涯学習振興課	所属長名	多田 雅子	電話	481-0309
-----	-------	-----	---------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4057	事務事業名称	生涯学習振興事業						短縮コード	経常	4057	臨時
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	生涯学習振興費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等	八千代市生涯学習審議会条例、八千代市生涯学習審議会条例施行規則、八千代市生涯学習推進本部設置規程、八千代市生涯学習基本構想、第4次八千代市生涯学習推進計画							

事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

1) ホームページによる学習情報の提供 (平成15年度より市民からの要望により開始。) / 2) まちづくりふれあい講座 (平成8年度より生涯学習振興事業の一つとして開始。市職員を講師として市民グループの学習の場に派遣する調整を行う。) / 3) 市内大学公開講座の支援 (平成元年より八千代市大学機能の地域開放促進事業として開始。広報等での周知等を行う。) / 4) 高齢者学習グループの支援 (ふれあい大学のOB等を高齢者学習グループとして登録し、施設の使用料の減免等を行う。) / 5) ふれあい教室 (昭和58年高齢者活力地域還元事業として開始し後に市民活力地域還元事業となった。市登録のボランティア指導者と指導希望団体との仲介を行う。) / 6) 生涯学習審議会の開催 (第2次八千代市生涯学習基本構想策定に関し、諮詢・答申を行うため開催) / 7) 生涯学習推進本部会議・幹事会の開催 (第2次八千代市生涯学習基本構想及び第1期生涯学習推進計画の策定に関し、内容の調整や検討を行う為開催) / 8) 第2次八千代市生涯学習基本構想及び生涯学習推進計画の策定

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 人口の増加、高齢化の進行、また、団塊世代の大量退職に伴う余暇時間の増大により生涯学習に対する関心は益々高まり、生涯学習のニーズは増え、今後もこの傾向は続くと予想される。	総合計画の施策体系	5本の柱(章)	02	人間尊重都市をめざして
		大項目(節)	02	生涯学習
		中項目	01	生涯学習
		小項目(施策)	01	生涯学習推進体制の充実
			02	生涯学習機会の拡充
		細項目	01	推進計画の策定
			02	生涯学習ボランティアの育成・支援
		実施計画の計画事業	2201	第2次八千代市生涯学習基本構想・推進計画の策定
			2202	生涯学習ボランティアバンク整備事業

計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>	計画事業期間	平成20年4月～平成23年3月	計画事業費	千円
--------------	--------------------------	--------	-----------------	-------	----

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	・市民 (生涯学習情報の提供等) / ・市内在住、在勤、在学している10名以上の団体やグループ等 (まちづくりふれあい講座) / ・大学公開講座(市内大学公開講座の支援) / ・ふれあい大学OB等高齢者 (高齢者学習グループの支援) / ・市内各小中学校児童、幼稚園・保育園・学童保育所の児童、公民館やPTA等の団体等 (ふれあい教室)
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成22年度に実際に行なったこと: 1) ホームページによる学習情報の提供、2) まちづくりふれあい講座 (職員による出前講座) の実施、3) 市内大学公開講座の支援、4) 高齢者学習グループの支援、5) ふれあい教室 (ボランティア指導者と指導希望団体との仲介) の実施、6) 生涯学習審議会の開催、7) 生涯学習推進本部会議・幹事会の開催、8) 第2次八千代市生涯学習基本構想及び生涯学習推進計画の策定 ※平成23年度に計画していること: 1) ホームページによる学習情報の提供、2) まちづくりふれあい講座 (職員による出前講座) の実施、3) 市内大学公開講座の支援、4) 高齢者学習グループの支援、5) ふれあい教室 (ボランティア指導者と指導希望団体との仲介) の実施、6) 生涯学習審議会の開催
意図 (何を狙っているのか)	生涯学習に関する情報を提供することによって、市民の生涯学習に対する興味や意識を高める。また、高まった生涯学習に対する意欲を、場所や人材の提供等で支援する。これらによって、市民一人ひとりが自ら学習機会を選択して学ぶことができ、また学んだ成果を適切に生かすことが出来る様な社会、すなわち「生涯学習社会」の構築を図る。
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外

区分	単位	21年度	22年度		23年度
		実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	全市民 (3月末現在)	人	192,570	196,000
	指標2				
	指標3				
活動指標	指標1	各事業利用者数	人	25,312	34,500
	指標2				
	指標3				
成果指標	指標1	各事業利用者数の市民に対する割合	%	13.1	17.6
	指標2				
	指標3				
上位成果指標	指標1				
	指標2				
	指標3				

コード	4057	事務事業名称	生涯学習振興事業			所属名	生涯学習振興課	
事業費(A)	財源内訳	単位	21年度		22年度		23年度	
			実績	計画	実績	計画		
		国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	201	522	336	397	
		その他	千円					
主な事業費の内訳			ふれあい教室 166千円 まちづくりふれあい講座 5千円 生涯学習ボランティアバンク 2千円	報酬 317千円 報償費 135千円 旅費 19千円 需用費 51千円	生涯学習審議会 162千円 ふれあい教室 128千円 まちづくりふれあい講座 5千円 構想・計画の策定 19千円	報酬 211千円 報償費 135千円 旅費 21千円 需用費 30千円		
人件費(B)		千円	27,006.7	38,716.1	30,803.8	28,348.5		
トータルコスト(A)+(B)		千円	27,207.7	39,238.1	31,139.8	28,745.5		

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	生涯学習社会の構築は、市民が主役の人間尊重都市の創造につながるため。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
	②すでに所期目的を達成しているか? ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	各事業について、一層市民への周知を図り、市民参画を進めていく必要がある。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
	③民営化で目的を達成できるか? ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	市内部での企画立案などの業務が主であるため、民営化にはなじまない。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
	④「対象」・「意図」の設定は現状のまま良いか?	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままよい	所期目的に変更はなく、現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性がある	ふれあい教室については、引き続きFAX等簡便な方法による申請書や報告書の提出を促すことによって、利用者の利便性を向上させ、利用の促進を図る。 大学公開講座については、市ホームページや「まなびネットやちよ」に情報を積極的に掲載することによって、情報を広く伝え、利用の拡大を図る。 各事業を進めるにあたっては、Eメールを積極的に利用し、業務の効率化を図る。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性がある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性がある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か? 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等				
		<input type="checkbox"/> 臨時の任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し				
		<input type="checkbox"/> 上記以外の方法				
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか?(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある	類似事業名称	1	実施主体(所管部署)	
		<input type="checkbox"/> ない				

コード	4057	事務事業名称	生涯学習振興事業	所属名	生涯学習振興課	
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方針を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続	ふれあい教室については、引き続きFAX等簡便な方法による申請書や報告書の提出を促すことによって、利用者の利便性を向上させ、利用の促進を図る。 大学公開講座については、市ホームページや「まなびネットやちよ」に情報を積極的に掲載することによって、情報を広く伝え、利用の拡大を図る。 各事業を進めるにあたっては、Eメールを積極的に利用し、業務の効率化を図る。			
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善				
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小				
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し				
	<input type="checkbox"/> その他					
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止					
	<input type="checkbox"/> 事業完了					
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続					
成 果	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。	経 費			FAXやEメール、インターネット等の活用によって業務の効率化を図り、また、ボランティアの協力を得て事業内容を充実させるが、大幅なコスト削減や成果の向上は難しい為。	
			削 減	不 变		増 加
		向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
		不 变	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
まちづくりふれあい講座及びふれあい教室については、事業として地域に定着しており、実施後のアンケート調査においても、利用者の満足度が高いという結果が出ている。 特にふれあい教室については、好評なため依頼が多数寄せられる種目もあり、現在のボランティア指導者数では対応が難しくなってきており。このため、ボランティア指導者の数の確保に努めてほしい旨の要望がある。	

所属長コメント	まちづくりふれあい講座、ふれあい教室等市民の学習機会の拡充に努めるほか、八千代市生涯学習推進会議本部会議の開催や八千代市生涯学習審議会の諮問・答申、パブリックコメントの実施を経て、「第2次八千代市生涯学習基本構想」を平成22年10月に策定、「第1期生涯学習推進計画」を平成23年3月に策定したこと、市民の生涯学習に対するニーズに対応していきたい。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善	
	<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小	
	<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し	
	<input type="checkbox"/> その他	
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	
	<input type="checkbox"/> 事業完了	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	